

まちづくり

市では、災害に強いまちをつくるための取組を進めています。今後も企業や関係機関などとの連携や協力体制を築き、万が一の災害に対する備えをさらに強化していきます。



円滑な医療救護活動のために(2月1日)

市は一般社団法人湖北医師会と「災害時の医療救護活動に関する協定」を締結しました。

現在市では、市域で地震等の大規模災害が発生した場合、米原市地域防災計画に基づき、災害対策本部が一時的に医療救護所を開設し、傷病者に対する応急措置等を実施することとしています。

この協定は、災害発生直後の初動期における医療救護活動に従事いただく医師の派遣や、医療救護班の編成作業の協力、平時においても災害時に医療体制を適切かつ早急に確立するためのマニュアル策定や防災訓練の実施に協力いただく内容で、長浜市と湖北医師会の間でも、同じ内容の協定が結ばれました。

今後は、湖北歯科医師会や湖北薬剤師会とも協定を締結する予定です。

(右)野馬追(相馬市・南相馬市)
毎年7月末、約500騎の騎馬武者が戦国時代絵巻を繰り広げます。国の重要無形民俗文化財。
(下)赤ペコ
和紙で作られる張り子の牛で、会津の民芸玩具。



福島県

東日本大震災から5年 被災三県を応援しよう

市では、福島県相馬市と災害時の相互応援協定を結び、東日本大震災以降、お米等の生活物資の搬送や義援金の募集、職員派遣など相馬市の復興を支援してきました。

しかし、今なお福島県では、10万5286人ものが避難を続けています(平成27年10月時点)。また、東北被災三県産品に対する風評被害が少なからず残っているという情報もあります。

東北被災三県の魅力を知って、買って、食べることが復興の大きな力となります。今後も被災地の復興にご支援よろしく願います。



今後20年間、被災者支援や地域貢献を(1月18日)

市は滋賀県を立会人として、姉川ダム水力発電所を設置運営する「いぶき水力発電株式会社」と「地域貢献に関する協定」を締結しました。

この協定では、災害時の被災者支援や、環境教育、農業振興、森林整備などで今後20年間にわたり、地域へ貢献いただくこととしています。

※いぶき水力発電株式会社

山室木材工業株式会社とイビデンエンジニアリング株式会社の共同出資で設立。県が管理する姉川ダムの水力発電所の設置・運営事業者となり、県と共同で管理にあたる。



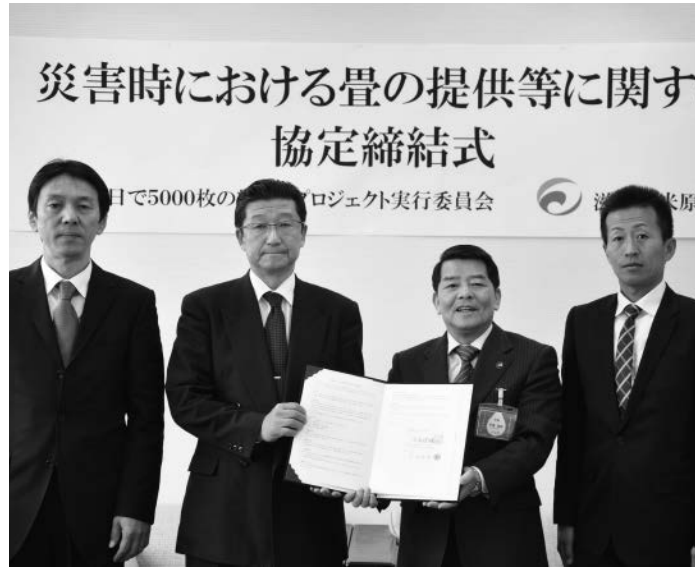
災害に強い

畳を通して避難所にぬくもりを(2月5日)

市は「5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会」と「災害時における畳の提供等に関する協定」を締結しました。

この協定は、地震や風水害等で災害が発生した場合、市がプロジェクトに要請すると全国の畳店のネットワークを通じて避難所等に新しい畳を無償で届けていただくもので、市内の有限会社会的場たたみ店がプロジェクトに参加されたことが協定締結のきっかけとなりました。

米原庁舎で行われた締結式で、平尾市長は「日常的に親しみのある畳を避難所に届けていただくことで、避難生活に安心感が生まれる」と感謝し、実行委員会の武内理事は「新しい畳のリラックス効果や抗菌作用で、少しでも心が和らぐ手助けができれば」と語りました。



宮城県

(上)白石川堤一目千本桜
毎年全国から30万人以上が訪れる東北を代表する桜の名所。
(右)キラキラ丼
南三陸町のご当地グルメ。四季の丼を、復興商店街で味わえます。



岩手県

(上)三陸鉄道
岩手の沿岸を走るローカル鉄道。津波で大きな被害を受けたが全線運行を再開。
(右)イサダ
三陸広域で採れ、アンチエイジング効果も期待できる注目の食材。



春季全国火災予防運動

3月1日(火)～7日(月)

火災が発生しやすい時季です。
この機会に、防火意識を高めましょう。

平成27年度 全国統一防火標語

無防備な心に火災が
かくれんぼ

住宅防火 いのちを守る7つのポイント

3つの習慣

- 寝たばこは絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 小さいうちに火災を消すために、住宅用消火器等を設置する。
- 高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

問 市 防災危機管理課(近江庁舎) ☎52-6630 FAX 52-6930